

平成14年度

相模原市立博物館 年報

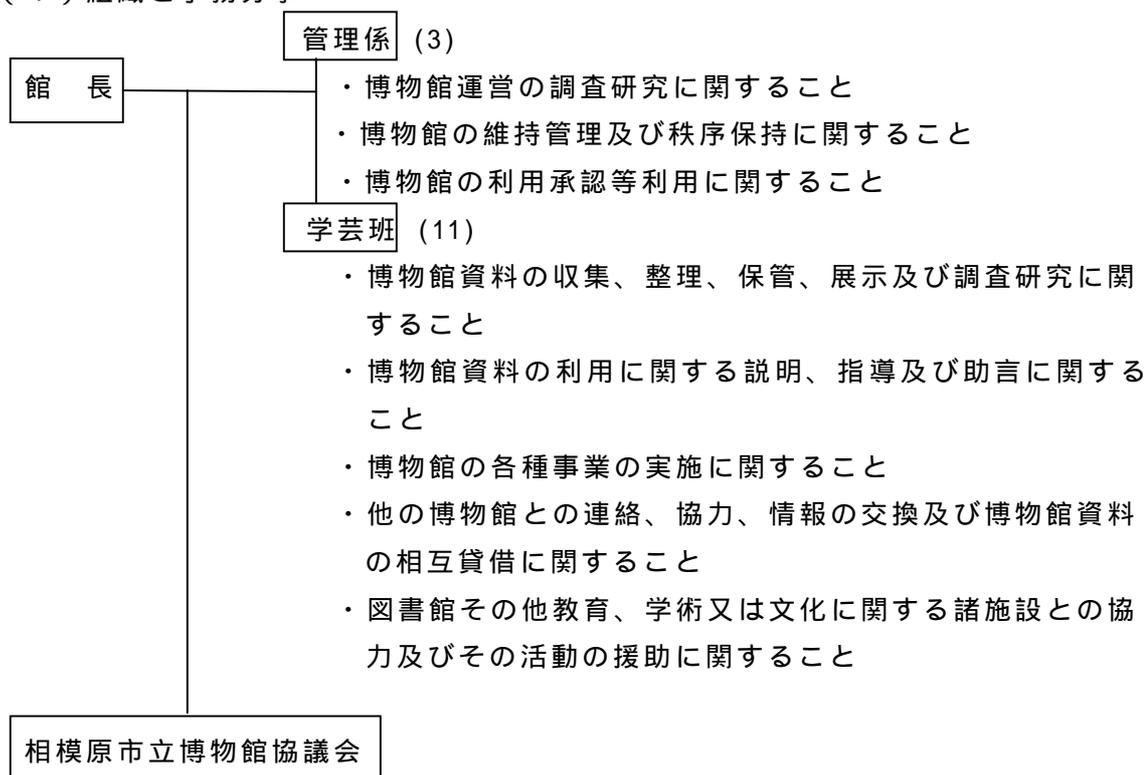


平成15年4月1日
相模原市立博物館

管理運営

1 組織及び職員

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員(平成15年3月31日現在)

館長	参事(兼)館長	安立	武晴
管理係	副主幹(兼)管理係長	成瀬	正行
	主任	鉢村	敏雄
	主事	久万	真彦
学芸班	副主幹(学芸員)	杉本	芳秋 (天文担当)
	(学芸班担当)		
	副主幹(学芸員)	守屋	博文 (動物担当)
	指導主事	遠山	正紀 (地理担当)
	指導主事	杉崎	久子 (天文担当)
	主査(学芸員)	加藤	隆志 (民俗担当)
	主任(学芸員)	木村	衡 (考古担当)
	主任(学芸員)	秋山	幸也 (植物担当)
	主任	福田	豊 (情報担当)

主 事（学芸員） 草薙 由美 （歴史担当）
 主 事（学芸員） 塩谷 裕久 （天文担当）
 主事補（学芸員補） 河尻 清和 （地質担当）

* なお、受付案内業務は（財）相模原市都市整備公社に委託し8名が配属され、プラネタリウム投影業務の一部は（株）東急コミュニティーに委託し4名が配属されている。

2 博物館協議会

- (1)趣 旨 博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。
- (2)委員構成 3名（学校教育）、2名（社会教育）、5名（学識経験者）の計10名
- (3)任 期 2年（平成13年11月20日～平成15年11月19日）
- (4)活動状況 14年度は4回開催され、茨城県自然博物館の視察や常設展示の評価について検討がなされた。

3 施 設

(1) 施設概要

- ・敷地面積 9,999.48㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造
- ・規模 地下1階・地上3階建て
- ・建築面積 5,081.03㎡
- ・延床面積 9,510.24㎡

(2) 施設管理

- ・施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託している。
- ・消防訓練 5月8日（水・臨時休館日）、10月16日（水・臨時休館日）、1月28日（火）

4 予 算

平成14年度予算

（単位：千円）

款項目	科目名	本年度予算額	前年度予算額	比 較	財源内訳
50:20:40	博物館費	318,168	340,327	-22,159	特定財源 16,402 （特財内訳） その他 16,402 一般財源 301,766

2 特別展・企画展・収蔵品展等

(1) 企画展「しらべよう、このまちの植物のこと」

内 容 市民参加型の「さがみはらタンポポ調査」の成果や各種植物標本などを展示し地域の自然の現状や変化などを紹介。

期 間 平成14年4月27日(土)～6月16日(日)

観覧料 無料

入場者 8,564人

出版物 ポスター(B2) 500枚、チラシ(A4両面)6,000枚、リーフレット(A4 4頁)5,000部

関連事業 ・5月18日(土)、記念講演会「日本のタンポポは、今」、
講師：小川潔氏(東京学芸大学助教授)、参加者：81人
・5月26日(日)・6月2日(日)、植物学教室「植物を採集して標本をつくろう」、参加者：延べ27人
・6月9日(日)、ミニシンポジウム「地域の自然を見つめる市民の眼」、
参加者：60人
・6月1日(土)・15日(土)、展示解説、参加者：延べ23人

(2) 特別展「昆虫のふしぎ～地球は虫でいっぱい～」

内 容 クワガタムシの標本や生き虫のほか、光り輝く虫、大きな虫、変わった形をした虫などを展示し、多くの謎を秘めた昆虫の不思議を紹介。

期 間 平成14年7月20日(土)～9月1日(日)

観覧料 大人：300円(高校生以下：無料)

入場者 16,602人

出版物 ポスター(B2) 500枚、チラシ(A4両面)8,000枚、図録(小冊子)1,000部

関連事業 ・7月28日(日)～8月31日(土)全3回、「昆虫採集入門教室」、
参加者：延べ37人
・8月3日(土)・4日(日)、「昆虫を描く～サイエンス・イラストレーター木村政司の世界～」、講師：木村政司氏(日本大学助教授)、
参加者：延べ500人
・7月27日(土)ほか全2回、展示解説、参加者：延べ122人

(3) 第6回収蔵品展「講中の共有道具」

内 容 講中の解散などによって当館に寄贈された冠婚葬祭で用いる道具類などを展示し、講中道具の持つ意味やあわせて県内の関連する資料を紹介。

期 間 平成14年9月14日(土)～10月14日(月・祝)

観覧料 無料

入場者 4,927人

出版物 ポスター(B3) 500枚、チラシ(A4両面)8,000部

関連事業 ・9月21日(土)・10月14日(月)、「バックヤード公開と資料整理体験」
参加者：延べ10人

- ・9月22日(日)、講演会(第5回日曜講演会)「料理文化と食器」
講師：原田信男氏(国土館大学教授)、参加者：55人
 - ・9月29日(日)、展示解説「市域の講中と講中道具」、参加者：24人
- (4) 企画展「子どもたちの暮らし～昭和40年代を中心に～」
- 内 容 人口が急増し始めた昭和40年前後の相模原の様子とその当時の子どもたちの暮らしを写真や資料、再現した駄菓子屋などの展示で紹介。
- 期 間 平成14年10月26日(土)～12月8日(日)
- 観覧料 無料
- 入場者 14,727人
- 出版物 ポスター(B2) 500枚、チラシ10,000部
- 関連事業 ・11月17日(日)、記念講演会「薄れゆく昭和の記録～昭和の日常博物館の取り組みとその意義～」、
講師：市橋芳則氏(師勝町歴史民俗資料館)、参加者：55人
・11月4日(月・休)・23日(土)、「展示解説」、参加者：延べ35人
- (5) 第7回収蔵品展「豊かさの研究-石器時代から見る未開と文明-」
- 内 容 当館収蔵資料のほか市内出土の石器や復元した投槍器などの展示から、当時の技術や機能性の高さなどを紹介し豊かさについて考察。
- 期 間 平成15年1月26日(土)～〔平成15年4月6日(日)〕
- 観覧料 無料
- 入場者 10,104人(うち平成14年度分は8,841人)
- 出版物 ポスター(B2) 500枚、リーフレット10,000部
- 関連事業 ・2月23日(日)、講演会(第10回日曜講演会)「原始の豊かさ・今の豊かさ-縄文時代を中心に-」、講師：長岡文紀氏(県生涯学習文化財課)、参加者：135人
・3月22日(土)、「石器づくり体験教室」、
講師：御堂島正氏(かながわ考古学財団)、参加者：30人
・1月26日(日)ほか全4回、「展示解説」、参加者：延べ64人

〔参考〕

江成常夫写真展「時代の肖像～昭和史の主役たち～」

【この事業は相模原市教育委員会主催】

- 内 容 神奈川文化賞ならびに相模原市民文化彰受賞を記念し、代表作の「百肖像」を中心とした著名人のポートレート125点を展示。
- 期 間 平成14年6月23日(日)～7月7日(日)
- 観覧料 大人(19歳以上) 300円
- 入場者 2,015人(うち有料大人 539人)
- 関連事業 ・6月23日(日)、「作者によるギャラリートーク」、参加者：100人
・7月7日(日)、紫綬褒章受賞記念講演会「写真・明日への地平」、
参加者：178人

3 講座・観望会・その他の事業

講座

講師は、学芸員が行ったもののほか、外部に依頼したものについては項目と付記した。

(1) 民俗講座「大山道を歩く」(13年度から継続)

内容 実際に橋本から大山道を歩いて、その役割を知るとともに、道沿いの社寺・石仏を通じて県央部の歴史・文化について学習する。

実施日 〔平成14年2月16日(土)〕から4月27日(土)まで全7回

参加人数 延べ 211人(うち平成14年度分は87人)

外部講師 大野一郎氏(厚木市郷土資料館学芸員) / 第3・4回
浜野達也氏(平塚市博物館学芸員) / 第5・6回

(2) 「さがみはらタンポポ調査2002」

内容 市民参加による市域のタンポポ調査を通じ土地利用と植生の関係を学習する。

実施日 〔平成14年3月24日(日)〕から6月30日(日)まで全4回

参加人数 延べ 156人(うち平成14年度分は124人;第3回分81人は企画展の再掲)

外部講師 小川潔氏(東京学芸大学助教授) / 第3回

(3) 考古学講座「遺跡が街にやってきた」

内容 考古学が対象とする物質文化の痕跡資料を用いながら、相模原を中心とする地域課題の発見とその解決を主目標に据える。

実施日 平成14年5月19日(日)から10月26日(日)まで全7回

参加人数 延べ 249人

外部講師 野内秀明氏(横須賀市教育委員会) / 第5回
能登健氏(群馬県埋蔵文化財発掘調査事業団東毛調査室室長) / 第6回

(4) 博物館日曜講演会(第1回～第11回開催分)

内容 外部研究者や当館学芸員等の講演、成果発表を行い、幅広い学術的視点、研究手法や今日的課題等の学習機会を提供する。

第1回 「神奈川県地域史研究～現地調査を通じて～」

講師：神崎彰利氏(市史編さん室特別顧問・前当館館長)

第2回 「実験室から見た地球の内部～高温・高圧での物質の変化～」

講師：赤荻正樹氏(学習院大学教授)

第3回 「ハート型土偶は心の造形」

講師：能登健氏(群馬県埋蔵文化財発掘調査事業団東毛調査室室長)

第4回 「星伝説～星座巡りと野尻抱影さんのこと～」

講師：小林悦子氏(元天文博物館五島プラネタリウム解説員)

第5回 「料理文化と食器」

講師：原田信男氏(国土館大学教授)

第6回 「地図づくりと相模原～一緒に相模原の地図を眺めましょう～」

講師：清水靖夫氏（日本国際地図学会常任委員）

第7回 「吉宗の行政改革」

講師：大石学氏（東京学芸大学教授）

第8回 「相模原の植物、最新情報」

講師：秋山幸也（当館学芸員）

第9回 「大地に残された地震の記録をよむ～南関東地域の活断層と将来の大地震～」

講師：宮内崇裕氏（千葉大学助教授）

第10回 「原始の豊かさ・今の豊かさ - 縄文時代を中心に - 」

講師：長岡文紀氏（県生涯学習文化財課）

第11回 「神奈川昆虫事情 - 虫たちの異変 - 」

講師：高桑正敏氏（県立生命の星・地球博物館学芸部長）

実施日 平成14年5月26日(日)から平成15年3月23日(日)までの毎月第4日曜日
全11回

参加人数 延べ 1,029人（第3回・第5回・第10回の延べ人数280人は、再掲）

(5) 平成14年度セミのぬけがら調査

内 容 相模原市域のセミのぬけがらを調べる、身近な自然環境に親しむとともに、セミの生息状況から地域の自然を知るきっかけとする。

実施日 平成14年6月16日(日)から10月6日(日)まで全4回

参加人数 延べ 120人

(6) 天文講座「変光する星を調べよう」

内 容 変光星を双眼鏡や天体望遠鏡で変化の様子を観測し、併せて変光星の種類や性質を学習する。

実施日 平成14年8月10日(土)から9月14日(土)まで全6回

参加人数 延べ 51人

外部講師 高木右京氏（日本変光星研究会会員）/ 第2・3回

北村正利氏（国立天文台名誉教授）/ 第4回

中澤知洋氏（文部科学省宇宙科学研究所助手）/ 第5回

前田良知氏（文部科学省宇宙科学研究所助手）/ 第5回

(7) 植物学講座「花の観察と植物画」

内 容 「描く」という行為をとおして植物の構造などを学び、植物画の初歩的な手法を修得する。

実施日 平成14年9月28日(土)・29日(日)全2回

参加人数 延べ 45人

外部講師 豊田路子氏（植物画家・神奈川県植物誌調査会会員）

(8) 民俗講座「道祖神を調べる会」（16年度まで継続予定）

内 容 月1回程度、当館や他施設での講義並びにフィールドワークを通じて道祖神について学習し、併せて博物館の基礎データ作成も兼ねる。

実施日 平成14年11月3日(日・祝)から平成15年3月15日(土)まで全5回
(平成14年度分)

参加人数 延べ 287人

外部講師 佐川和裕氏(大磯町郷土資料館学芸員)/第3回
倉石忠彦氏(國學院大學教授)/第5回

(9) 自然を楽しもう!野あそびクラブ

内 容 ()平成14年11月24日(日) ... 「フンをブンセキしてみよう」
()平成15年2月2日(日) ... 「石ころアートでひな人形づくり」
()3月2日(日) ... 「あなたも足あと探偵」

参加人数 延べ 12人(内訳 + + ; 3+3+6=12)

(10) 地質学講座「河原の小石の観察」

内 容 相模川の河原の小石の観察から、相模川流域の地質や川の運搬・堆積作用、及び、大地の成り立ちについて学習する。

実施日 平成15年1月19日(日)から3月9日(日)まで全4回

参加人数 延べ 35人

(11) フィールドワーク「鳩川下流を歩く」

内 容 下溝から海老名まで鳩川に沿って、民俗担当と植物担当の学芸員が随行しながら歩き、流域の暮らしと自然について学習する。

実施日 平成15年2月15日(土)から3月22日(土)まで全3回

参加人数 延べ 63人

観望会

(1) 星空観望会

内 容 季節に応じた天体の観測により天文知識の普及を図る。

実施日 平成14年4月5日から平成15年3月28日まで毎週金曜日(全29回)

参加人数 延べ 925人 雨天・曇天時等中止

(2) 部分日食直前ガイド

内 容 部分日食の仕組みや当日の観察方法などを学習する。

実施日 平成14年6月8日(土)

参加人数 44人

その他の事業

(1) 糸取り・機織り実演会～糸取りや機織りを体験しよう～

内 容 糸取り・機織りの方法を見学するとともに実際に体験する。

実施日 平成14年7月20日(土・祝)・21日(日)

参加人数 延べ 310人

外部講師 大谷 タケ氏(市内在住)

(2) 夏休み子ども学習相談

- 内 容 小・中学生を対象に夏の自由研究等のアドバイスをする。
 実施日 平成14年7月20日(土・祝)から8月31日(土)まで
 参加人数 延べ 110人
- (3) 夏休み親子石器作り教室
 内 容 原始時代と現代の「切る道具」の違いを体験的に学習する。
 実施日 平成14年8月11(日)
 参加人数 50人
 外部講師 御堂島正氏(県生涯学習文化財課)
- (4) 夏休み親子天文教室
 内 容 ()Aコース「手作り天体望遠鏡」
 ()Bコース「光る星座盤作り」
 実施日 A:平成14年8月13(火)・B:8月15日(木)
 参加人数 延べ 168人(内訳A 89人+B 79人)
- (5) 親子でたんけんさがみはら
 内 容 相模原発展の様子やそれに伴う近代化の遺産を親子で見て歩く。
 ()平成15年3月26日(水)...「街並みたんけん～橋本の変化～」
 ()3月27日(木)...「緑道たんけん～台地の用水路～」
 ()3月28日(金)...「跡地たんけん～陸軍通信学校～」
 参加人数 延べ 66人(内訳 + + ; 11+18+37=66)

〔参考〕

- (1) 宇宙科学研究所公開講座
 【本事業の主催は市総合学習センター】
 実施日 平成14年10月5日(土) 参加人数 98人
- (2) 市史講演会
 【本事業の主催は市総務課市史編さん室】
 内 容 第1回「地域の歴史 人の歴史～大河ドラマと相模原～」
 第2回「軍都からベッドタウンへ～相模原の軍都化と都市化～」
 実施日 平成14年11月9日(土)/第1回、平成15年3月15日(土)/第2回
 参加人数 154人/第1回、110人/第2回
 外部講師 神崎彰利氏(市史編さん室特別顧問)/第1回
 浜田弘明氏(桜美林大学助教授)/第2回

4 プラネタリウム・全天周映画

- (1) 14年度観覧者合計 48,791人
 投影内容別は以下記。月別の観覧者については3ページ参照。

(2) 一般投影 (プラネタリウム)

ア 内容 解説員による季節の星空説明と企画解説で構成 (所要約50分)

番組名	投影期間
星からの地図づくり 伊能忠敬 -	[平成14年3月9日(土)] ~ 6月16日(日)
宇宙人っているの?	6月22日(土) ~ 9月1日(日)
星空の世界へ 星の動きと地球 -	9月7日(土) ~ 12月1日(日)
奇跡の星 地球 -	12月7日(土) ~ 平成15年3月2日(日)
第2の地球を求めて 太陽系外惑星 -	3月8日(土) ~ [平成15年7月13日(日)]

イ 投影時間 平日... 午後3時50分

土・日・祝日・小中学校長期休み等... 午後1時30分と3時50分

ウ 観覧者 19,702人

(3) 全天周映画

ア 内容 大型フィルム使用の映画作品を上映 (所要約45分)

番組名	上映期間
グランドキャニオン 壮大な峡谷を探検する -	[平成13年10月20日(土)] ~ 平成14年4月21日(日)
オーシャン オアシス 海洋の楽園 -	4月24日(水) ~ 10月14日(月)
ヒューマン ボディ	10月19日(土) ~ [平成14年4月20日(日)]

イ 上映時間 平日... 午後2時40分

土・日・祝日・小中学校長期休み等... 午前10時50分と午後2時40分

ウ 観覧者 18,277人

(4) 学習投影

ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組

作品 小・中学校向け「月の形と動き」

小・中学校向け「星の動き(夏/冬)」

小・中学校向け「太陽と惑星」

小・中学校向け「太陽系の仲間たち」

小・中学校向け「月の形と動き」

幼児向け「うちゅうの七にんきょうだい」

幼児向け「ピーターパンのぼうけん」

イ 投影時間 事前に利用団体と調整し、主に平日午前中に投影

ウ 観覧者 10,812人

(5) プラネタリウム夜間投影

小中学校の春休み・夏休み・冬休み期間の毎週金曜日に限り、午後6時からもプラネタリウムを投影した。投影回数8回、観覧者計76人。

(6) 出版物

プラネタリウム・全天周映画案内A5パンフレット、B2ポスター... 番組別に作成

5 その他

(1) 情報サービスコーナー

ビデオライブラリーの作品年間視聴本数 計1,469本

CD-ROM文庫のソフト年間閲覧本数 計248本

(2) 収蔵資料の「ミニ展示」

特別展・企画展の開催期間外に、特別展示室前で資料の展示を行った。

「運ばれてきた黒曜石」〔平成14年3月30日〕～4月14日

「ようこそ、冬芽の世界へ」12月10日～1月23日

(3) 巡回展示「タイムカプセル2100年への旅」

県博物館協会創立45周年記念事業であるタイムカプセルをエントランスで10月1日(火)～12月27日(金)まで展示した。

6 学校と博物館の連携を進める研究会

(1)趣 旨 学校教育の場で、児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす、学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

(2)委員構成 5名(市立小学校教諭)、3名(市立中学校教諭)の計8名

(3)任 期 2年(平成14年7月1日付け、新委員委嘱)

(4)活動状況 14年度は3回開催され、博物館の利用指導のあり方等について検討を行った。

7 広報・出版

(1) 刊行物

ア 特別展・企画展のパンフレット・ポスター ...各3種(前掲)

イ 収蔵品展のパンフレット・ポスター・リーフレット ...各2種(前掲)

ウ プラネタリウム及び全天周映画案内パンフレット・ポスター ...計6種(前掲)

エ 博物館NEWS(Vol.27～Vol.30)

オ 特別展図録(小冊子)

「昆虫のふしぎ～地球は虫でいっぱい～」

カ 報告書等

「研究報告第12集」「資料目録4 テフラ標本目録 町田洋コレクション」

「資料目録5 相模原植物誌 - 標本目録 - 」

(2) 有償刊行物一覧(平成15年3月末現在)

有償刊行物については、博物館と市役所情報公開室で販売。

特別展・企画展図録

書名	発行年月	販売価格
郷土の巨匠・岩橋英遠展	7・11	1,000
江南の至宝	8・2	1,300
相模原の昆虫～身近にいる小さな昆虫たち～	8・4	350
日本の宇宙開発	8・11	1,000
絵図から地形図へ～近代地形図の誕生と発展～	9・7	2,550
太陽系～母なる太陽とその家族を巡る～	9・11	700
相模原が海だったころ	10・7	800
浮世絵名品展	10・9	1,800
水生昆虫の世界～水の中の小さな虫たち～	11・7	1,200
描かれた農耕の世界	11・9	1,500
花を描き、花を知る～植物画の魅力～	12・7	1,200
幕末・維新の相模原～村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち～	12・10	1,500
星の測量～角度をはかり、位置をもとめる～	13・7	700
“道”再発見 - 道の役割とその移りかわり -	13・10	1,500
昆虫のふしぎ	14・7	500

調査報告書等

書名	発行年月	販売価格
研究報告第7集 1998	10・3	800
研究報告第8集 1999	11・3	600
研究報告第9集 2000	12・3	550
研究報告第10集 2001	13・3	850
研究報告第11集 2002	14・3	850
研究報告第11集 2003	15・3	900
資料集 順席(慶応三年)	10・3	800
古山の生業と伝承	10・3	600
大島地区の自然と文化	11・3	900
相模原市作成の地図	11・3	1,000
一般図・主題図・地形図	12・3	1,200
桐生亮コレクション標本目録	13・3	1,150
大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	14・3	600
資料目録4 テフラ標本目録 町田洋コレクション	15・3	850
資料目録5 相模原植物誌 - 標本目録 -	15・3	600

展示解説書

書名	発行年月	販売価格
相模原市立博物館・常設展示解説書	9・1	1,000

(3) 他の機関等との関連

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館へ掲示を行った。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、その他新聞・雑誌、他博物館等へ記事・ポスターを提供した。

ウ 放送番組口ケ

博物館を紹介する、テレビ・ラジオ番組の取材に応じた。

主な番組内容 テレビ神奈川...「ぶらり！風・気・分」
ケーブルテレビJ-COM...「わいわい相模原」

8 博物館実務実習

学芸員資格習得のための実習として、8月20日から9月1日まで実質10日間、13名を受け入れた。分野別の受け入れ大学は以下のとおり。考古(帝京大学・日本女子大学)・民俗(共立女子大学・国土館大学・専修大学)・動物(麻布大学2)・植物(麻布大学・日本大学・桜美林大学)・地質(駿河台大学・女子美術大学)・天文(桜美林大学)。

9 博物館職員の講師派遣等

市内各公民館・小中学校等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。(これに類するものも記載)

実施日順に、演題、依頼先、月日、場所、担当者を記した。

- ・「新採用職員研修(市の歴史)」、職員課職員研修室、4月2日、けやき会館、木村衡
- ・「小6 社会科 縄文時代当時の人々の暮らし」、大野北小学校、4月26日、木村衡
- ・「小5 総合的な学習 環境変化による生き物の変遷等」、大野台小学校、5月28日、こもれびの森、守屋博文
- ・「川の生き物をさがそう」、境川の斜面緑地を守る会、6月8日、境川、守屋博文
- ・「小6 総合的な学習 相模原に住む昆虫や鳥について」、共和小学校、6月13日、守屋博文
- ・「星をみよう」、弥栄小学校、7月4日、杉崎久子
- ・「勝坂遺跡を知る学習会(植物についての現地学習)」、文化財保護室、7月7日、秋山幸也
- ・「第2回環境教育研修講座 相模川の生き物と環境」、座間市教育研究所、7月31日、相模川、守屋博文
- ・「自然に親しむ教室～地域に生息する小さな虫たち～」、7月30日、新磯公民館、守屋博文
- ・「調べるということの本質的な意味」、7月31日、大野北小学校ランチルーム、木村衡

- ・「自然観察会（植物観察会）」、環境対策課、9月1日、秋山幸也、
- ・「相模川 河原の動植物の生態についてのフィールドワーク」、城山町教職員研修会、10月2日、城山町立湘南小学校、秋山幸也
- ・「親子自然観察会」、（財）相模原市みどりの協会、10月26日、横山公園、秋山幸也
- ・「高齢者学級」、10月29日、新磯公民館、加藤隆志
- ・「館区内花木マップ制作」、上鶴間公民館、10月10日、秋山幸也
- ・「小6理科 大地のつくり」、11月14日、大野台小学校、河尻清和
- ・「小1総合的な学習 こもれびの森調査」、11月14日、大野台小学校、守屋博文
- ・「星空観望会」、11月14日、上溝南小学校校庭、杉崎久子、塩谷裕久
- ・「勝坂遺跡を知る学習会（植物についての現地学習）」、文化財保護室、11月23日、秋山幸也
- ・「田端環状積石遺構の石材鑑定」、町田市教育委員会、11月29日、町田市小山町、河尻清和
- ・「校内樹木名の指導」、当麻田小学校、12月6日、秋山幸也
- ・「小6理科 大地のつくり」、上溝南小学校、12月6日、河尻清和
- ・「星空観察」、1月23日、作の口小学校校庭、杉崎久子
- ・「小4総合的な学習 生命の星～地球」、夢の丘小学校、1月23日、杉崎久子
- ・「小5野外体験学習 地層の調査」、大野台中央小学校、1月30日、神沢崖下、河尻清和
- ・「冬の星座観察会」、東林公民館、2月13日、杉本芳秋、杉崎久子
- ・「親子で見る冬の星空観望会」、星が丘公民館、3月7日、杉本芳秋、杉崎久子
- ・「小4総合的な学習 野鳥の鳥」、作の口小学校、3月12日、守屋博文
- ・「勝坂遺跡を知る学習会（植物についての現地学習）」、文化財保護室、3月15日、秋山幸也
- ・「ざまサイエンスカーニバル」、ざまサイエンスカーニバル実行委員会、3月22日、座間市立青少年センター、杉本芳秋
- ・「花と緑のマップを歩いてみよう」、上鶴間公民館、3月29日、境川流域、秋山幸也
他に（継続的なものとして）、
- ・「（仮称）大夙文化資料館収集部会（展示方法の助言等）」、商業観光課、9月1日～、加藤隆志
- ・「県博物館協会人文科学部会部会長としての諸業務」、加藤隆志
- ・「県博物館協会創立50周年記念事業実行委員としての諸業務」、加藤隆志
- ・「郷土学習教材制作委員会」、市総合学習センター、木村衡

資料管理

1 15年3月31日現在の資料点数は、18頁のとおり。

2 資料収集・保存

分野	内容
考古資料	旧斎藤武一氏所蔵資料の整理 収蔵資料台帳の作成とその検索システムに関するデータ入力作業
歴史資料	歴史資料の収集・整理、未整理資料の整理
民俗資料	市域の民俗資料の収集、未整理資料の整理及びカード作成 大型収蔵庫棚板設置に伴う資料整理
地理資料	市域の生活資料の収集・整理。寄贈図書、地図の整理
動物資料	収集及び収蔵資料の整理
植物資料	植物資料の収集及び標本の作製・整理
地質資料	岩石・化石資料の収集 寄贈予定資料（火山灰、貝塚爽平氏の文献・研究資料）の整理・データ化
天文資料	星雲・星団・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク、国立天文台等からの画像収集
情報資料	他博物館より送付されたパンフレット等の閲覧用への整理

3 14年度購入資料

区分	内 容
博物館資料	「神奈川県植物誌(1958)」、「神奈川県植物目録(1958)」、 「神奈川県植物目録(1933)」、「横浜植物誌」、「外国産昆虫標本」、 「江戸名所図会」
学術雑誌	考古学ジャーナル・月刊むし・天文月報等の専門雑誌24種 (市民研究室・天文研究室で開架)
新刊書籍及び ビデオソフト等	市民研究室・情報サービスコーナーへの配架用として、新刊書 を中心とした書籍65冊、ビデオ5本、CD-ROM4本を購入した。

4 燻蒸の実施

受入れ資料の燻蒸を8月（一部の収蔵庫を含む）及び1月に実施した。

5 資料の特別利用

平成14年度の資料特別利用（館外貸出等）について、日付（期間）順に、資料、利用種別、期間、申請者、目的の順に記した。

- ・ 航空写真23冊、館外貸出、6月26日～9月26日、市資産税課、調査事務
- ・ 勝坂式土器、館外貸出、7月6日、市文化財保護室、学習会
- ・ 山王平出土加曾利E式土器ほか、館外貸出、7月14日、市文化財保護室、展示
- ・ 衣料切符、館外貸出し、7月9日～7月16日、民間、展示
- ・ 山王平遺跡出土土偶、撮影、7月19、民間、公民館記念誌掲載
- ・ 写真（カワラノギク）ほか1点、館外貸出、7月20日～7月27日、民間、カレンダー制作
- ・ 航空写真、館外貸出、8月15日～8月13日、市区画整理課、調査事務
- ・ 写真資料、館外貸出し、8月17日～8月31日、民間、TV番組制作
- ・ 神輿、撮影、8月15日、個人、広報誌作成
- ・ 三匹獅子舞写真40点、館外貸出、9月3日～12月31日、個人、著作掲載
- ・ 縄文式土器ほか、撮影、9月18日、市総合学習センター、中学校社会科副読本掲載
- ・ 土器及び石器資料51点、館外貸出、9月12日～3月31日、市立夢の丘小学校、校内展示
- ・ 航空写真23冊、館外貸出、9月27日～12月27日、市資産税課、調査事務
- ・ 館外観写真、館外貸出し、10月4日～10月22日、民間、校友会会報掲載
- ・ 常設展示室写真、模写、10月18日～11月20日、民間、雑誌掲載
- ・ 足ふみ脱穀機・トオミ各2点、館外貸出し、11月10日、民間、市農業まつり出展
- ・ 白黒テレビほか108点、撮影、10月29日～11月30日、市市史編さん室、市史掲載
- ・ 相模川のパネル写真17点、館外貸出、11月23日～2月9日、相模川ふれあい科学館、展示
- ・ 館内外写真4点、館外貸出、11月14日～12月31日、民間、社内報掲載
- ・ 相模大野駅周辺模型、撮影、11月15日、個人、Webサイト掲載
- ・ アナホリ当番表、撮影、12月1日、個人、大学のレポート掲載
- ・ タンポポ調査風景写真ほか1点、館外貸出し、12月20日～12月27日、民間、出版物掲載
- ・ 航空写真23冊、館外貸出、12月28日～3月28日、市資産税課、調査事務
- ・ 相模原市カラー航空写真3点、複写、1月10日、個人、調査研究
- ・ 念仏講掛軸ほか、撮影、1月16、市広聴広報課、ビデオ広報制作
- ・ 相模原市カラー航空写真、複写、2月14日、個人、調査研究
- ・ 糸車、館外貸出、2月13日～2月21日、大野台小学校、授業教材
- ・ さがみはら郷土歴史カルタ、館外貸出、2月13日～2月20日、淵野辺東小学校、講座教材
- ・ ミンミンゼミの抜け殻ほか6点、館外貸出し、3月11日～3月20日、民間、出版物掲載
- ・ 上溝駅舎の写真パネルほか2点、館外貸出、3月18日～3月25日、（財）相模原市みちの協会、チラシ掲載
- ・ 航空写真23冊、館外貸出、3月29日～（6月29日）、市資産税課、調査事務

調査研究

調査分野 及び調査者	内 容
考古資料の調査 木村 衡	境川流域における旧石器時代遺跡発掘調査資料の再検討 公共財としての遺跡、遺物の経済学的研究
歴史資料の調査 草薙 由美	近世村落における文書の保存管理に関する調査 市制50周年記念展開催に伴う資料調査
民俗資料の調査 加藤 隆志	市域及び周辺地域における道祖神信仰に関する調査 脱穀調製具をはじめとした農具に関する調査
地理資料の調査 遠山 正紀	生活資料の分類及び収集、展示に関する調査 市域の景観調査、企画展開催に伴う資料調査
動物資料の調査 守屋 博文	相模川水系水生昆虫生息調査...生息状況把握と二次資料化 昆虫生息調査...市域の昆虫類生息状況調査
植物資料の調査 秋山 幸也	市内における高等植物の分布状況の調査 市内及び周辺地域の緑地の植生構造調査
地質資料の調査 河尻 清和	相模川流域の地質調査及び現河川礫調査 薄片資料の製作
天文資料の調査 杉本 芳秋 杉崎 久子 塩谷 裕久	ケフェウス座 E G 星の光電測光観測

博物館収蔵資料点数リスト

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
考古	レプリカ	考古資料収蔵庫等	3	点	4,765
	土器・石器片等	考古資料収蔵庫	121	点	
	橋本遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	846	箱	
	橋本遺跡復元土器	考古資料収蔵庫	190	点	
	古淵B遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	40	箱	
	中村遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	98	箱	
	田名塩田遺跡群出土土器	考古資料収蔵庫	425	箱	
	田名堀之内遺跡出土資料	考古資料収蔵庫	22	箱	
	当麻下溝遺跡群出土土器	考古資料収蔵庫	1,865	箱	
	当麻亀の甲・西原遺跡出土資料	考古資料収蔵庫	188	箱	
	矢掛久保遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	95	箱	
	矢掛久保遺跡復元土器	考古資料収蔵庫	80	点	
	下九沢下作ノ口遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	20	箱	
	上溝甲六号遺跡出土資料	考古資料収蔵庫	1	箱	
	相原田ノ上第12地点出土資料	考古資料収蔵庫	1	箱	
	淵野辺山王平遺跡出土土器等	考古資料収蔵庫	650	箱	
	下溝上谷開戸遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	120	箱	
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	4,825	点	30,572
	歴史資料	生活資料収蔵庫	597	点	
	古文書等市史資料	古文書収蔵庫	3,314	点	
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,740	点	
	購入資料	特別収蔵庫	96	点	
民俗・ 地理	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫・	14,366	点	20,725
	軍事資料	大型資料収蔵庫	898	点	
	地図・写真資料	図面保管庫	5,461	点	
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	188	点	2,853
	岩石・薄片資料	地質資料収蔵庫等	649	点	
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	1,339	点	
	ポーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点	
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	279	点	
	参考資料	地質資料収蔵庫	75	点	
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点	31,546
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	31,394	点	
	小動物等	液浸標本収蔵庫	99	点	
	鳥類	動植物資料収蔵庫	9	点	
	哺乳類	動植物資料収蔵庫	4	点	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	16,249	点	16,249
天文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,042	点	2,042
二次資料	図書・報告書等(詳細は別途)	市民研究室等	28,316	点	31,562
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,246	点	
合計			140,314	点	

二次資料（図書・報告書等）点数リスト

市民研究室	
考古	5,347 点
歴史	5,678 点
民俗	1,952 点
地理	2,268 点
地質	1,037 点
動物	1,906 点
植物	337 点
芸術	738 点
博物館	4,218 点
計	23,481 点

天文研究室	
天文	509 点
計	509 点

情報コーナー	
図書	4,074 点
ビデオテープ	216 点
CD-ROMソフト	36 点
計	4,326 点

合計	28,316 点
----	----------

館内収蔵美術品・市史資料点数リスト

館内収蔵美術品(生涯学習課扱)

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
美術品	絵画	美術品収蔵庫	382	点	437
	彫刻	美術品収蔵庫	0	点	
	書	美術品収蔵庫	55	点	

館内収蔵市史資料(総務課市史編さん室扱)

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
市史資料	行政資料	古文書収蔵庫	1,524	綴	32,118
	今井家資料	古文書収蔵庫	30,594	点	

相模原市立博物館

発行：平成15年4月1日

住所：〒229-0021 相模原市高根3-1-15

TEL：042-750-8030 FAX：042-750-8061

<http://www.remus.dti.ne.jp/~sagami/index.htm>